

(研究室だより)

### 「有明海で見つかった新種の有孔虫」

「星の砂」は、熱帯に生息する単細胞動物(有孔虫)の殻です。カンブリア紀(約5.6億年)に出現した有孔虫は、海水の温度、塩分、溶存酸素、pHおよび堆積物の性質により棲み分けています。多様な形をした殻は化石として残るため、過去の海洋環境の推定に役立っています。

正確な分類は、過去の環境を復元するために必要です。そこで、緑川沖(水深20m)の海底下13mの地層(約2400年前)から産出した有孔虫を調べました。



熊本新港沖で実施したコアリング作業(海底に長さ15mのアルミ製パイプを突き刺して、乱れのない堆積物を採集する)

実体顕微鏡の下で、10000個体以上の有孔虫を観察していたら、20個体程度見なれない種を見つけました。殻の形や結晶の違いから2つの新属としました。新たに見つかった属には1つずつ新種があり、*Pseudoedentostomina ariakensis* Akimotoならびに*Paraedentostomina candida* Akimotoと命名されました。全283種の標本は鹿児島大学総合研究博物館に登録・公開され、写真は2002年3月末に同博物館からモノグラフ(ISSN 1347-2747)として出版されました。

今後、富士フィルムグリーンファンド研究助成などを基に、有明海全域で有孔虫の分布を調査する予定です。



発見された新属新種の有孔虫(*Pseudoedentostomina ariakensis* Akimoto)の光学顕微鏡写真

### お知らせ

#### 1.みんなで“砂”を見てみよう!

沿岸域センターと理学部地球科学科の教官が共同で、“砂の世界”をテーマに、平成14年12月14日(土)に熊本大学南地区(工学部と理学部)で開催される「夢科学探検2002」に出展します。実体顕微鏡を用いた世界各地の砂の観察、微小生物の化石の拾い出しができます。会場等の詳細は、夢科学探検2002実行委員会にお問い合わせください。

#### 2.むつごろう通信への投稿を歓迎します。

投書欄は皆様のものです。提供いただいた情報をむつごろう通信に掲載します(必ず氏名、連絡先、電話番号を欄外に記入してください)。原稿は、400字程度の平易な文章で書いてください。写真(L版サイズ)も受けつけます(30字以内の説明をつけてください)。読み難い単語にルビをつけてください。編集で手を加えることもあります。ご了承ください。

原稿および写真は、センターの秋元和實(akimoto@sci.kumamoto-u.ac.jp)、または滝川清(takikawa@gpo.kumamoto-u.ac.jp)までお送りください。

#### 連絡先:

〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号  
熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター  
事務連絡先: 熊本大学総務部研究協力課  
TEL096(342)3143 FAX096(342)3149  
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/center-for-marine/top.htm>